

効率が悪いので熱中症になりやすいといわれています。

3 熱中症を予防するためには

高齢者や小児では温度感や口渇感を感じにくく、さらに体温調節機能が劣っているので、早めに水分を補給することが大切です。

私たちは軽い脱水の状態では口の渇きを感じません。また、一気に大量の水を飲んでも脱水状態は軽減しません。体温の調節のためにさらに大量の発汗が続いて逆に脱水が高度になることすらあります。口渇感が生じた時には既に脱水が始まっていますので、このような状態の発生を避けるようにすることが大切です。気温が高くなりそうな時には、計画的に例えば30分毎に100から150mlの水分をとるようにします。水分は糖分を多く含まないスポーツ飲料が無難ですが、辛く感じない程度の食塩水でもいいです。その他食事を摂っていない人、発熱している人、利尿薬や降圧薬などの発汗や体温調節に影響を与えるような薬を服用している人も熱中症になりやすく注意が必要です。

日本睡眠学会睡眠医療認定 医療機関「A型」に認定されました



副医務局長兼睡眠医療センター長 若井正一

当院睡眠医療センターは、6月25日、日本睡眠学会の学会認定に関する審査に合格したため、睡眠医療認定医療機関「A型」に認定され、認定証の交付を受けました。認定証の有効期間は5年間で、A型の学会認定医療機関は、当院が県内では初めてです。睡眠医療センターは、睡眠障害、睡眠時無呼吸症候群の患者様に対し、健康安心サロンにおいて終夜睡眠ポリグラフ・ファイ検査を金曜日の午後入院、土曜日の午前退院(1泊2日)で実施します。

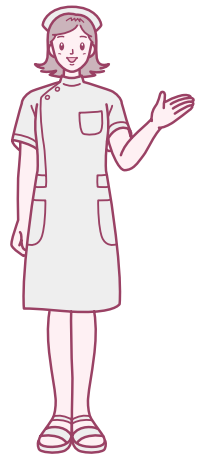
募集

糖尿病患者会(オリーブの会) 第6回 オリーブの会総会

平成20年9月28日(日)
 受付時間 9時
 9時30分~11時30分
 場所 掛川市立総合病院サロン講義室(参加無料)
 講師 掛川市立総合病院 管理栄養士 天野香世子
 演題 糖尿病と楽しく付き合うために…
 対象 どなたでも参加できます。
 当日会場に直接お越しください。
 ① 掛川市立総合病院 看護事務室
 榛村 ☎22-6211(内線2706)

病院の概況 (7月)

区分	人数 [名]	前月対比 [名]
患者数	延べ 19,755	1,001
	1日平均 898	5
入院	延べ 11,238	58
	1日平均 363	-10
赤ちゃん誕生	男子 28	8
	女子 16	-5
計	44	3
人間ドック受診	1泊2日コース 6	-1
	日帰りコース 延べ 711	36
	1日平均 32	0
脳ドック計	延べ 7	-2
	1日平均 724	33



■お願ひします

採用職員

- ◇看護師 (8/1付) 落合舞衣 病棟4階東
- ◇看護師 (8/1付) 片瀬つかさ 病棟2階西
- ◇非常勤看護師 (8/1付) 川越由美子 病棟5階西
- ◇非常勤検査技師 (8/1付) 堀内わか代 検査室
- ◇非常勤事務員 (8/1付) 岡田幸子 地域連携室
- ◇看護師 (7/31付) 川越由美子 病棟5階西
- ◇非常勤検査技師 (7/24付) 後藤 優 検査室
- ◇非常勤事務員 (7/31付) 山崎仁美 地域連携室

■ありがとうございました

退職職員

編集後記

先日、掛川市の姉妹都市ニューヨークのコンニグ市への訪問団勉強会にて講師をしました。団員間の交流も無く、団員同士の名前も知らない状態で研修を始めました。私が最終講義担当だったので、楽しく和気藹々と講義を進め、What's your name? 生徒に聞くと「ハニー、回答は「名乗るほどの者ではございません！」そこで場の雰囲気はほっこり以前とつかい号研修で行った他者理解を今回の研修で応用して実践しました。私もコンニグへ一度訪問させていただき、貴重な経験をさせてもらいました。皆さんも掛川市姉妹都市コンニグORコンニグ訪問をしてみたらいかがでしょうか(笑)